

## 前期から後期へ

10月に入り、ようやく通常日課での学校生活となりました。11日(月)前期終業式では、「自分の行動は、自分で決めている。」「自分で考えて行動する。」ということをお話しました。そして、**1・3・5年代表児童**が「入学して嬉しかったこと」「前期に頑張ったこと」「後期に頑張りたいこと」を発表しました。

12日(火)後期始業式には、「しっかり考えて目標をもち、残り半年を頑張ること」また、「考えなくてもできるようになってほしいこと」として「あいさつ」「返事」についてお話ししました。そして、**2・4・6年代表児童**が「後期に頑張りたい勉強や生活の目標」を発表しました。

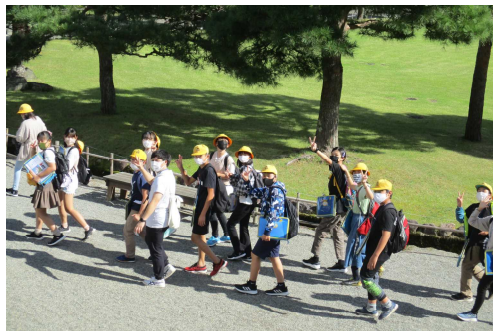
自分の言葉で学校生活を振り返り、半年後の進級・卒業に向かって後期の目標をもつことは、とても大切なことです。一年は長いようであっという間です。後期も一日一日を大切に生活してほしいと思います。



## 修学旅行

10月14日(木)～15日(金)、晴天にも恵まれ、6年生の修学旅行を実施しました。9月の緊急事態宣言下では、果たして予定どおり実施できるだろうか心配は尽きませんでした。

昨年同様、福島県会津・猪苗代方面に行くことができました。バスはもちろん、見学地やホテルも感染症対策が日常となっています。子供たちは、学校での生活と同じように気を付けながらも、会津の歴史に触れたり、赤べこの絵付けをしたり、美しい五色沼のハイキングを楽しんだりしました。笑顔にあふれ、その場その場で精一杯過ごしている6年生の姿が、とても印象に残っています。保護者の皆様にはご心配をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。



## お知らせとおわがい

今年も12月実施の予定で、「学校評価(保護者アンケート)」を実施いたします。昨年、感染症対策のため保護者の皆様が来校する機会が大幅に減り、特に低学年において、「学校のことわからない。」というご意見を多数いただきました。12/1(水)の授業参観は、予定通り、地区ごとに分かれて実施しますが、もしご希望がありましたら、参観日にかかわらず、授業を見にいらしてください。授業を参観する場合は、前日までに電話でご連絡をお願いします。TEL(52)1134 担当 校長 坂本、教頭 金久保

# 『パパとママに子育てを語る』

講師：前京都大学総長 元国際霊長類学会会長 総合地球環境学研究所所長  
山極 寿一 氏

主催：さつき幼稚園（宇都宮市）／ 後援：宇都宮市教育委員会

学校だよりNo.5 で、7月10日（土）の講演会について夏休み明けに紹介しようと書きましたが、遅くなりました。

以前、山極氏が森林の中でゴリラを追っているドキュメンタリー番組を見たことがありました。また、校内で回覧された「道徳科通信」（光村図書）に、山極氏の次のような言葉が紹介されていました。

「ゴリラは言葉をもちませんが、いろいろな方法で気持ちを伝え合っています。表情や歌が、ゴリラにとっての表現方法です。言葉はなくても歌があるから、ゴリラはまとまりのよい集団を形成できているのです。」

ゴリラの国で暮らしたという山極氏のお話は、「遊び」「コミュニケーション」「家族」と、とても興味深いものでした。

「遊び」 ○遊びは目的がない。 ○遊びは楽しい。 ○ゴリラも笑う。  
○おとなのゴリラは手加減して子どもと遊ぶ。 ○笑いが触媒となる。  
○小さい方が、イニシアティブ（主導権）をとる。  
○大きい方が、ハンデを負う。  
○遊びのルールは、その場で調整できる。

「コミュニケーション」  
○ゴリラは、負けず嫌いで自己主張する。2頭のゴリラがぶつかりあうと、他の小さいゴリラが仲裁することがある。  
○勝つためには、相手を押しのけ屈服させなければならないが、そうすると、仲間を失う危険がある。勝つと、仲間を失うことを本能的に知っている。  
○負けないでいることは、相手と対等で、仲間のメンツを守ることにつながる。友達が得られる。負けないでいることは、友達を失うことにならない。

「家族」 ○ニホンザルは食物を分配しない。  
○チンパンジーは、弱い方が強いものに、食物をねだる。  
○人間は進化の過程で、食物をその場で食べずに、必要以上の量のものを集め、仲間のもとに持ち帰り、仲間と分配し、仲間と一緒に食べることを選んだ。

そして、これから求められるグローバルな人材とは、「状況を判断し、適応できる。」

「自己決定ができる。」「危機管理ができる。」「他者を感動させる能力をもつ。」ということだそうです。知識を与える教育は過去のもので、今や知識はインターネットの中にあると話されました。

断片的ですが、おもしろさが少しでも伝わるといいです。考えさせられました。

山極 寿一氏 著書：「スマホを捨てたい子どもたち 野生に学ぶ未知の時代の生き方」



いちご一会とちぎ国体  
応援旗をつくりました

4年1組 群馬県  
5年1組 高知県  
6年1組 宮城県  
4年2組 滋賀県  
6年2組 富山県

